

たけべ 建部大社の謎

近江国の一宮である建部大社は、瀬田川に架橋された「瀬田の唐橋」から東へ約600^{いちのみや}の所に鎮座します。奈良時代以降、近江国庁に隣接して、東山道・東海道沿いの交通の要衝にあったことから、たびたび戦場ともなり、社殿は類焼をくり返しました。それでも素晴らしい平安時代の御神像が伝わっています。なかでも県内屈指の木像女神坐像(重要文化財)は有名です。建部大社の謎に満ちた歩みと、伝えられた文化財について紹介します。

2026年3月23日(月) 10:00～12:00

■集合場所／京阪電車 京阪石山駅 ■受付開始／9:50

■講師／宇野 日出生氏(小槻大社宮司) ■募集人数／20名 ■参加費／1,000円

主催:京阪ホールディングス(株) 後援:建部大社 協力:(公社)びわ湖大津観光協会

※宝物殿の拝観料含む



建部大社／木像女神坐像(平安時代後期)
※中央の坐像は重要文化財

募集受付 京阪電車WEBサイト

締切:2026年3月13日(金)まで

「瀬田の旧東海道を巡る」初心者コース

スタート
10:00

京阪石山駅

瀬田の唐橋

龍王宮秀郷社

建部大社

ゴール
12:00

約2.0キロ、約2時間

※建部大社までの道中は、ボランティアスタッフがガイドします。建部大社では宇野講師が案内します。

会館にて講演と
宝物殿の見学

近江神宮の建立

大津宮を造営した天智天皇を顕彰せんがため、昭和15年(1940)、挙県一致のもと建立されました。境内地は約6万坪。社殿は「近江造」「昭和造」ともいわれ、わが国近代の神社建築を代表する構造で、国の登録有形文化財です。また百人一首巻頭ゆかりの神社でもあり、年頭には「かるた祭」が厳かに行われます。近江神宮の建立当時と現在に焦点をあてて、お話しします。

2026年3月30日(月) 9:30～12:00

■集合場所／京阪電車 大津市役所前駅 ■受付開始／9:20

■講師／宇野 日出生氏(小槻大社宮司) ■募集人数／20名 ■参加費／1,000円

主催:京阪ホールディングス(株) 後援:近江神宮 協力:(公社)びわ湖大津観光協会

※時計館宝物館の
拝観料含む



近江神宮／かるた祭
(神座殿(かみくらでん)において年頭に行われる)

募集受付 京阪電車WEBサイト

締切:2026年3月13日(金)まで

「いにしえの大津を巡る」健脚コース

スタート
9:30

大津市役所前駅

弘文天皇陵

新羅善神堂

皇子山公園

近江勸学館

近江神宮

ゴール
12:00

約2.5キロ、約3時間

※近江神宮までの道中は、ボランティアスタッフがガイドします。近江神宮では宇野講師が案内します。

講演

時計館宝物館
の見学



宇野 日出生氏

小槻大社宮司、同志社大学・京都女子大学・京都橘大学講師、滋賀県文化財保護審議会委員、1955年滋賀県生まれ、國學院大學大学院日本史学専攻修了、2021年神道文化功労者表彰、40年近くにわたり京都市歴史資料館の研究職員として京都の歴史や文化に関わる調査研究に従事、主な著書に『八瀬童子 歴史と文化』(思文閣出版・日本図書館協会選定図書)、『近江の神道文化』(サンライズ出版・神道文化賞)他多数

◆申込方法

京阪電車WEBサイト

二次元バーコードにアクセスしていただき必要事項をご記入の上、ご応募ください。

<https://www.keihan.co.jp/navi/burari/navi/form/>
「keihan.co.jp」「movabletype.net」ドメインのメールが必ず受信できるように設定をお願いします。

※応募多数の場合は抽選になります。1度に2名まで申込可能。当選の方のみ、開催前約1週間を目途にメールを送信いたします。



『近江の神道文化(著者:宇野 日出生)』

日本古来の神道や神道文化は、多様化する現代社会においても、違和感なくわたしたちの日常生活のなかに息づいています。「神道文化」を知ることは「日本人が歩んできた道」を知ることになりません。滋賀県内には祭祀祭礼や仏教行事がたくさん残っています。それらを通して、人々の「祈り」や「切なる願い」を感じ取っていただければと思います。

サンライズ出版2020年

